

令和3年度 内部環境監査まとめ

令和4年3月24日 内部環境監査事務局（総務課庶務係）

1 監査の概要

(1) 監査実施部門

令和3年度の内部環境監査は、例年重点監査項目としている『環境管理推進員の役割の確認』、『環境法令の順守状況』、『5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の活動状況』、『環境率先行動計画によるエネルギー使用量の適正化』『改正フロン法施行に伴うエアコン等機器の管理状況』の5項目に『低炭素型設備機器及び環境配慮型車両の導入・更新の状況の確認』を加えた6項目を重点監査項目とし、8部門について監査を実施した。

(2) 監査体制

職員6名を内部環境監査員に任命し、2班体制で監査を実施した。

(3) 監査取組の経過

令和3年7月19日	内部環境監査員任命
令和3年11月18日	内部環境監査員研修
令和3年12月12日	内部環境監査員事前打ち合わせ（監査方法）
令和4年1月20日～1月26日	内部環境監査実施（8部門）
令和4年2月9日	内部環境監査員事後打ち合わせ（監査結果）
令和4年3月24日	市長報告

2 監査結果

評価	R3	R2	R元	H30	H29
有益（他部署にも推奨できる有益な活動）	14	8	—	15	14
観察（不適合ではないが、取り組みが不十分である。）	0	0	—	5	2
軽微（システムは機能しているが、要求事項には不適合である。）	0	0	—	0	0
重大な不適合（環境マネジメントシステムが機能していない。）	0	0	—	0	0

※ 令和元年度は、令和元年10月東日本台風及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施

<主な『有益』活動>

【税務課】

- ・名寄帳について、帳簿で保管していたが、データ化を実施して紙の使用量の削減に取り組んでいる。

【市民交流センター（市民協働課）】

- ・来年度エアコンを環境性能のよい機器に更新予定。
- ・牛乳パック回収用のリサイクルコーナーが設置されている。
- ・ダウンライトの一部がLEDに交換されている。

【戸倉保育園】

- ・年間のエコ活動計画表を作成しエコに取り組んでおり、特にエコ集会の定期的な開催、また、照明の間引きや、時間を決めて暖房の電源を切るなど電気使用量の削減が図られている。
- ・コロナ禍で保護者による園清掃の実施が難しい中、保護者と園児が無理なく楽しんで目標を持って清掃に参加できるよう、「1人10草運動」（送迎時に園庭の草を10本を目標に抜く）を実施している。

【上山田子育て支援センター（こども未来課）】

- ・事務用品、遊具や絵本などが整理整頓され、特に遊具や絵本が片付けやすいように箱やカゴに表示をするとともに片付け場所も決められているなど、5Sが徹底されている。
- ・リサイクルコーナーを設置し、子ども服や子ども用品が不要になった利用者から必要な利用者への橋渡しを行ない、廃棄物減量に寄与している。

【農林課】

- ・公用車2台を燃費のよい車に更新し、ガソリン使用量や燃費をデータ化し、燃費に対する（職員への）意識づけがされている。
- ・管理する排水機場2カ所の街灯をLEDに交換した。

【地域開発推進室】

- ・コピー用紙の裏面利用や可能な限り両面印刷をするなど、積極的に紙の使用量削減に努めている。

【第2学校給食センター】

- ・給食センターの施設見学について、コロナ禍により受け入れが難しい状況下であるが、給食に関する知見を広めるために各小学校へ出向き出前講座を実施するなど臨機応変に対応し、感染拡大防止にも配慮している。（フードロスなど）
- ・調理くずや残菜の一部について、戸倉宿キティパークで飼養している小動物のえさとして提供し、廃棄物減量に寄与している。

【八幡公民館】

- ・来年度に公用車（12年使用していた）を環境配慮型車両へ更新する。
- ・各種団体が印刷機を使用する際に、紙を持ち込んでもらう方式に変更し、紙使用量の削減を図っている。

4 総括と今後の課題

（1）エネルギー使用量削減・CO₂削減対策

今年度の内部環境監査でもさまざまな工夫がされていました。

他部門でも水平展開できそうなものについては、優良事例として環境マネジメント説明会等で紹介していきます。

市事業から生じる環境への負荷を率先して提言するために策定する「千曲市役所環境率先行動計画」は、平成15年12月に第1版が策定され、平成30年3月改訂の第8版が現行計画です。第8版の概要は以下のとおりです。

第8版	計画期間	平成30年度（2018年度）～令和12年度（2030年度）
	計画対象範囲	市事業に関わる全組織（小中学校も含む）
	基準年度	平成25年度（2013年度）CO ₂ 推計排出量6,793t
	目標	令和12年度（2030年度）までに平成25年度比で40%減 （平成28年度（5,344t）比で24%減）

【参考】令和2年度 = 平成25年度対比で▲23.89%（CO₂排出5,170t）

（2）5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の推進

環境率先行動計画にある5S活動について、各部署において独自の活動を行うなど定着してきています。引き続き推進するため、内部環境監査で有益と評価された、推奨できる事例を紹介し、全部門で取り組めるようにします。

また、「庁内でのごみの分別方法」「職場内の書類・消耗品の集約・整理」といったような、基本的なこと、当たり前のことが徹底できるよう繰り返し周知していきます。

（3）環境法令の理解推進について

監査の結果、法令違反となるような重大なものはありませんでした。

人事異動等に伴い、産廃のマニフェストの扱い等、基本的事項は、法令違反防止のため今後も環境マネジメントや環境法令の研修時等に説明してまいります。

（4）低炭素型設備機器の導入・更新状況について

一部施設において低炭素型設備機器（LED照明・高効率な冷暖房機器）の導入や更新が予定されていました。

特に公共施設へのLED照明の導入は多額の初期費用がかかることから、初期費用を抑えられるリース方式またはECOS方式による導入を研究・検討していきます。